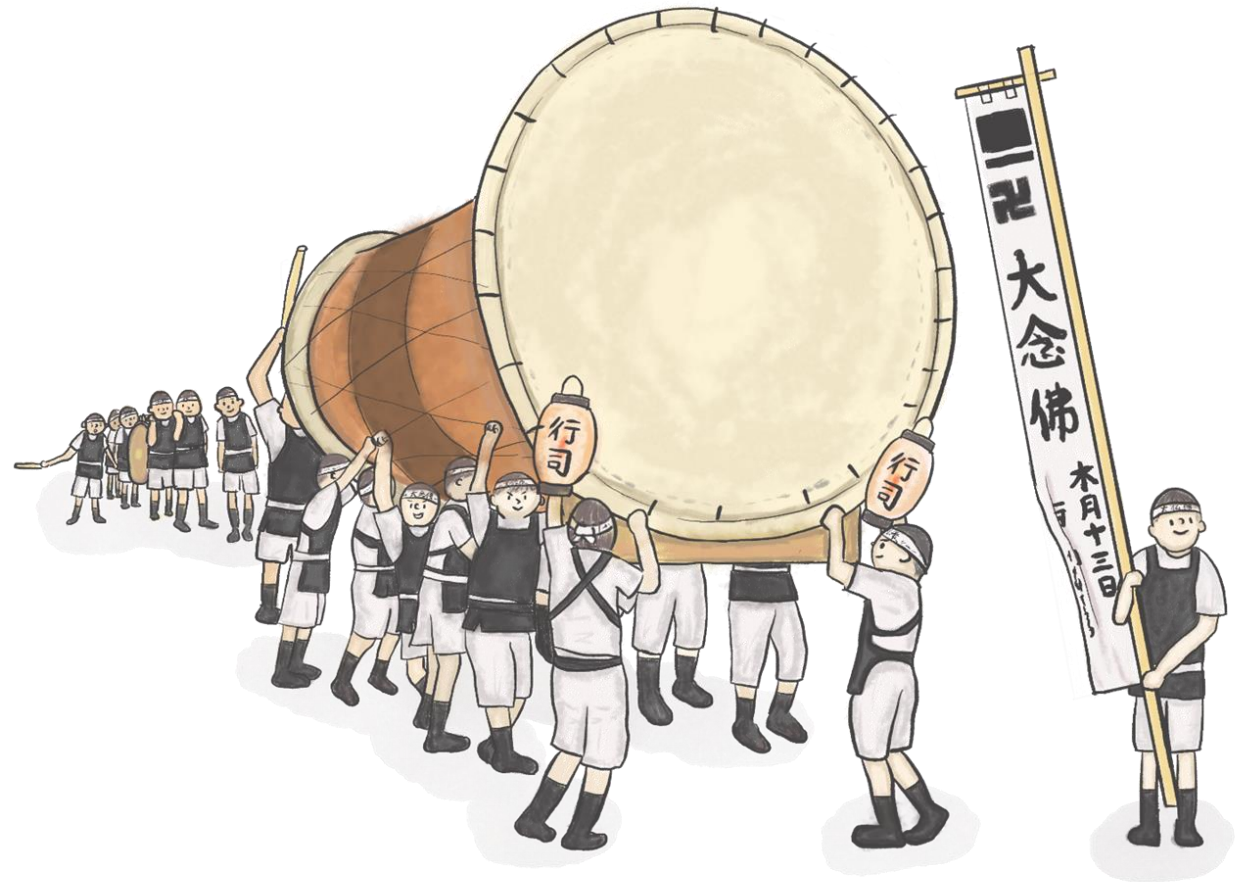




【東日野・西日野の大念仏】

担当 津市・小学2年生
津市・小学3年生
朝日町・小学5年生
四日市市・中学2年生
菰野町・高校2年生
四日市市・高校2年生



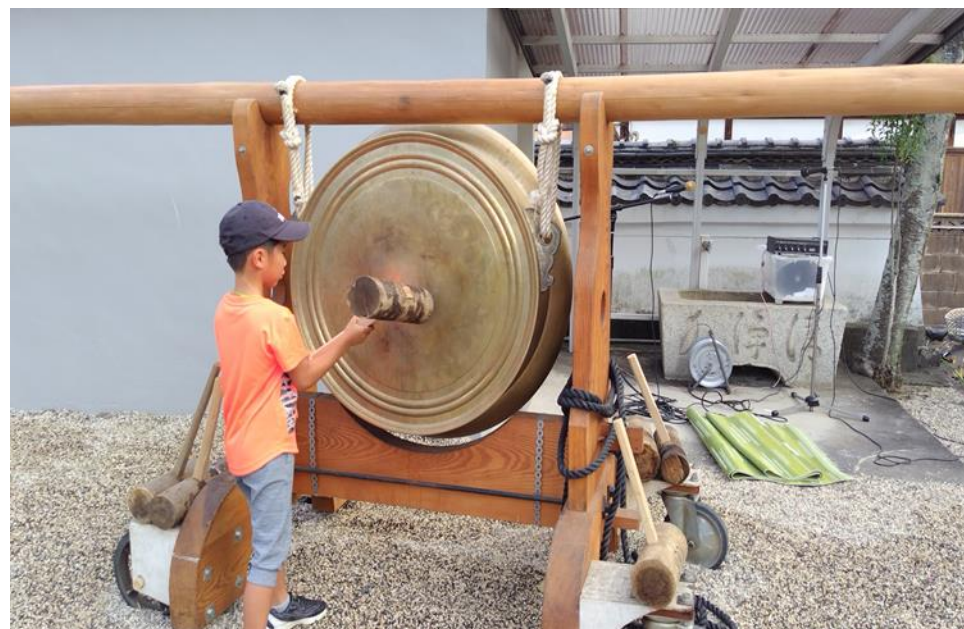
東日野・西日野の大念仏ってどんなお祭り？

毎年お盆に東日野町、西日野町で行われる行事。13日は東日野町の西覚寺から西日野町の顕正寺へ、15日には西日野町の日野神社から東日野町の西覚寺まで、それぞれの町の人々約100人が先の大太鼓と鉦を持って西覚寺に参詣します。



東日野・西日野の大念仏ってどんなお祭り？

直径約2メートル、長さ約3メートル、重さ約270kgの大型の太鼓と
直径約1メートルの大型の鉦を使って行われます。



お祭りの様子



取材のきっかけ

最近太鼓を習い始め、近くの町に大きな太鼓を使った祭りがあるのを知って、興味をもったため。

小学生の頃に地元の祭りに参加し、とても楽しかった思い出があり、みえ祭協力隊では他の地域の祭りにも参加できるため。

コロナ禍で活発に行うことができていなかった伝統の祭りについて触れてみたいと思ったため。

賑やかな雰囲気の中の”祭り”が大好きで、みえ祭協力隊のリーフレットをもらい興味をもったため。

Q & A

Q、なぜ念仏を唱えるのではなく太鼓や鐘を鳴らしながら歩き回るの？

昔は念仏を読んでいたが時が流れるにつれて太鼓や鐘が念仏の代わりとしての意味を持つようになったから。



Q & A

Q、祭りにはどんな人が何人ほど参加しますか？

他の地域からも参加できますか？

地域の小学生～大人の方が参加。80人ほど参加者が集まらなないと大念佛を行うことができない。なかなか参加者が集まりにくいですが、地域の高校生などの参加でなんとか行うことが出来ている。

他の地域からも参加することができる。人手不足のため参加して欲しいとのこと。来年はいろんな人に声をかけたい。

わかったこと

横笛を大人数でぴったり合わせるのはすごいと思いました。

若い世代の人が想像よりも多く参加しており、年齢を問わず楽しむことのできる文化であると思いました。

門をくぐる時に担ぎ手や周りの人達が大きな太鼓を慎重に傷つけないよう声をだして運んでいて団結力と迫力を感じました。

始まる前や途中、安心安全に周りに声かけする姿を何度か見て、お祭りを守ってく姿が見れました。

わかったこと

祭りの最中、家から出てきてみたり、お水を分けてくれたりと、地域の中で協力しあっているところが見れて、東日野大念仏は地元の人にとっても人気がある祭りだとわかりました。

小さな子供からお年寄りまでいろんな世代が参加できるお祭りで、年々参加する人は減っていると言っていたけど、街の人がとても大切にしているお祭りなんだなと思いました。

感想

横笛は持ち方が複雑で学校で習うリコーダーとは、全然違いました。
音の出し方もリコーダーは普通に息を入れたらなるけど、横笛は唇
を手前に持ってきて、下向きに息を入れて吹くというものにプラス
「ホーヒー」というリズムもおぼえるのが大変そうでした。



感想

実際に太鼓を叩いてみたら、ばちが重く太鼓も高いところにあるのでとても力があるし、真ん中を狙って打つのは難しかったです。

人と人とのつながりを肌で感じる事ができて、とても楽しかったです。色々な年齢層の方々が皆協力し合っており、とても良い雰囲気でした。

太鼓や鉦を持つのはとても大変だったけれど地元の方の応援がとても力になり頑張れました。

見どころ

直径2m、重さ290kgほどの大きな太鼓や、200kgもある鐘を沢山の人で担ぎながら境内を何周も練り回るところ。

祭りの中で行われる「しめ」

「しめ」は祭りの中で何度か行われるもので、太鼓と鉦を交互にならし、参加者全員が声を上げて場を盛り上げます。

実際に参加して、そのとき場の熱気が増すのを肌で感じました。

とても迫力があり、心にくるものがありました。